

# 山王塚古墳(川越市)

前方の木々の辺りが山王塚古墳



左手が「上円下方墳」である山王塚古墳/7世紀後半の、豪族が各地を支配していた古墳時代から天皇中心の国づくりが行われた奈良時代への過渡期に築造された、全国で10基程度しか確認されていない「上円下方墳」という墳形

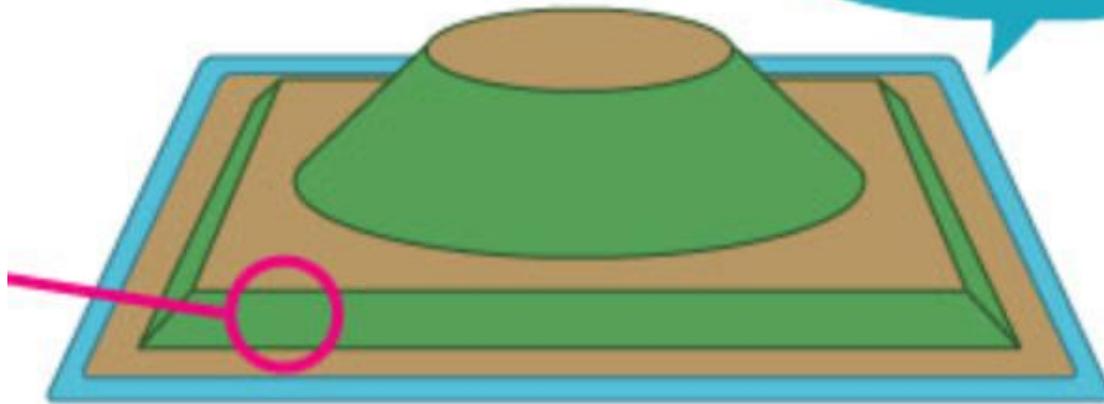


左手を見たところ



上円下方墳の姿/方墳の上に円墳が載ったスタイル

当時の山王塚古墳  
イメージ



上円下方墳

カワゴエール より

ここから墳丘に登ってみる



前方に鳥居が立っている



手前の辺りは下方部を取り巻く周溝を渡る土橋で、その先が下方部、そして更にその先のマウンドが上円部/説明坂が立っている



市指定 史跡

# 山王塚

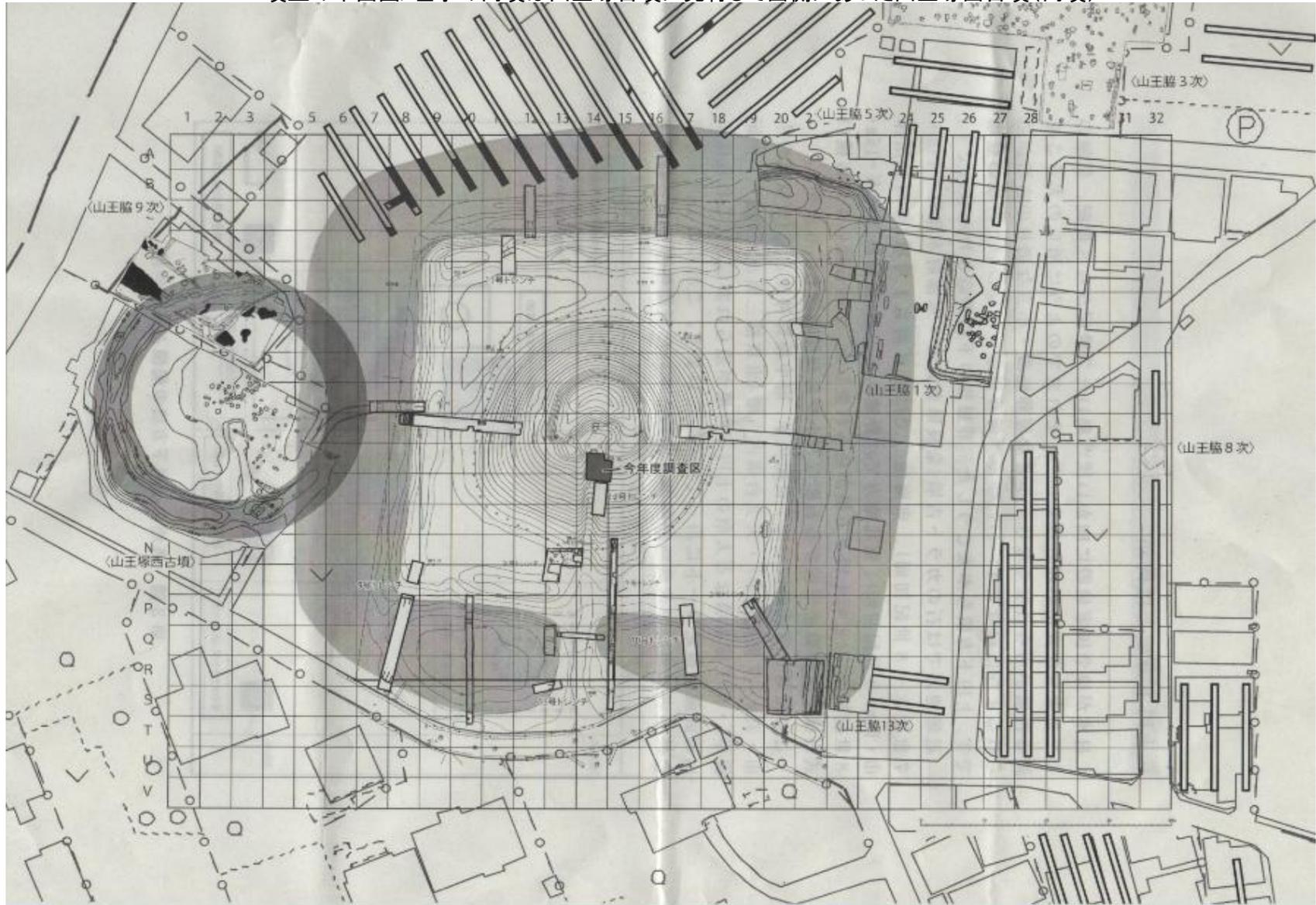
入間川を北西に臨む右側の南大塚の台地上に築造された上円下方墳である。南大塚古墳群としてわかっているのは一八基を数えるがそのうちで当古墳は最大のもので、入間川左岸の的場古墳群の牛塚（前方後円墳）古墳と対峙する位置にあり、その勢力圏を知ろうえでも貴重な古墳である。

その規模は方形部の一部は約六三mで、その高さは約一mである。円形部の径は約四七mを有し、全高四・五mで、方形部の外側には一部ではあるが幅約五mの周溝が現存しており、おそらく全体に巡っていたと考えられる。墳頂部は盗掘の痕跡がみとめられる。東日本最大の上円下方墳であろう。

平成六年三月

川越市教育委員会

墳丘の平面図/左手の円墳は山王塚古墳に先行して西側にあった山王塚西古墳(円墳)



前方の鳥居の辺りから上が上円部でその手前の部分が下方部



左手を見たところ/この辺りは下方部であろうか



山王社となっている



上円部と下方部の境部分



左手を見たところ



上円部へ登ってみる



墳頂の様子



山王社ということだろうか



寛文十二年(1672年)造立の、板碑型の庚申塔



墳丘の斜面を見下したところ



さて、墳丘を下りて周囲を見てみよう



これは周溝跡の南西角辺りで南側から北方向を見たところ/右手前方が墳丘



左手を見ると大きな建物が立っているが、その場所で山王塚西古墳が発掘されているようだ



右手の墳丘をアップで見たところ/周溝の先の一段上がった下方部の先に上円部のマウンドが見える



近づいて、下方部から見た上円部のマウンド



そこから下方部を北方向に見たところ/右手が上円部、左手は周溝跡



その下方部から周溝跡越しに山王塚西古墳があった辺りを見たところ



これは下方部の北西角辺りで北側から南方向を見たところで、左手前方が上円部



同じく、西側から東方向を見たところで、右手前方が上円部/左手が周溝跡/正面は土塁のようなマウンドになっているが、これは墳丘を大きく見せるために下方部縁辺を土盛りした周堤の名残り



これは北側から南方向に、下方部から上円部を見たところ



これは下方部の北東角辺りで北側から南方向を見たところで、右手前方が上円部/左手は周溝跡



これは東側から西方向に、下方部から上円部を見たところ



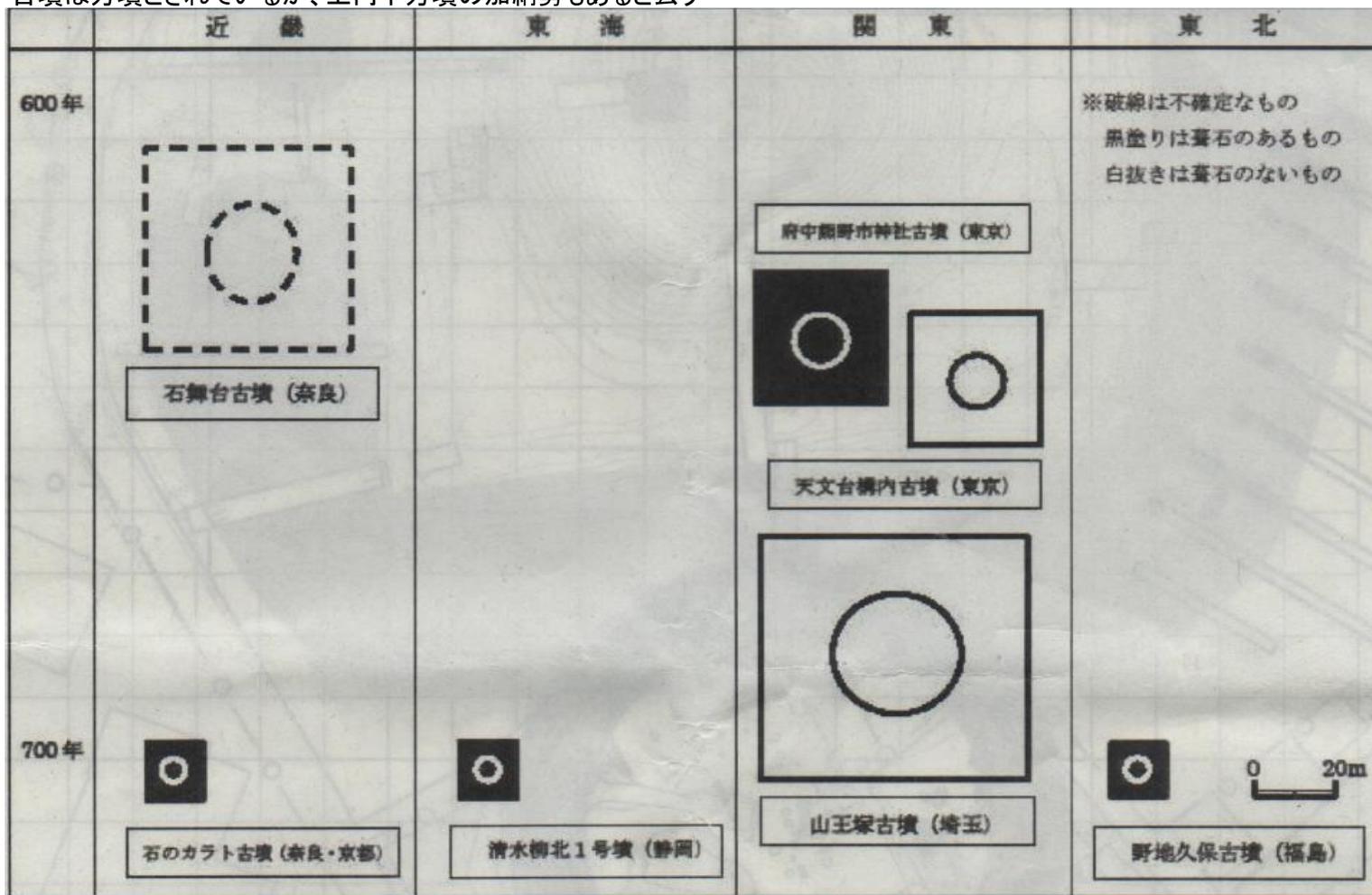
そこで少し退いて墳丘を見たところ



これは南側の下方部で東側から西方向を見たところ/右手が上円部、左手は周溝跡



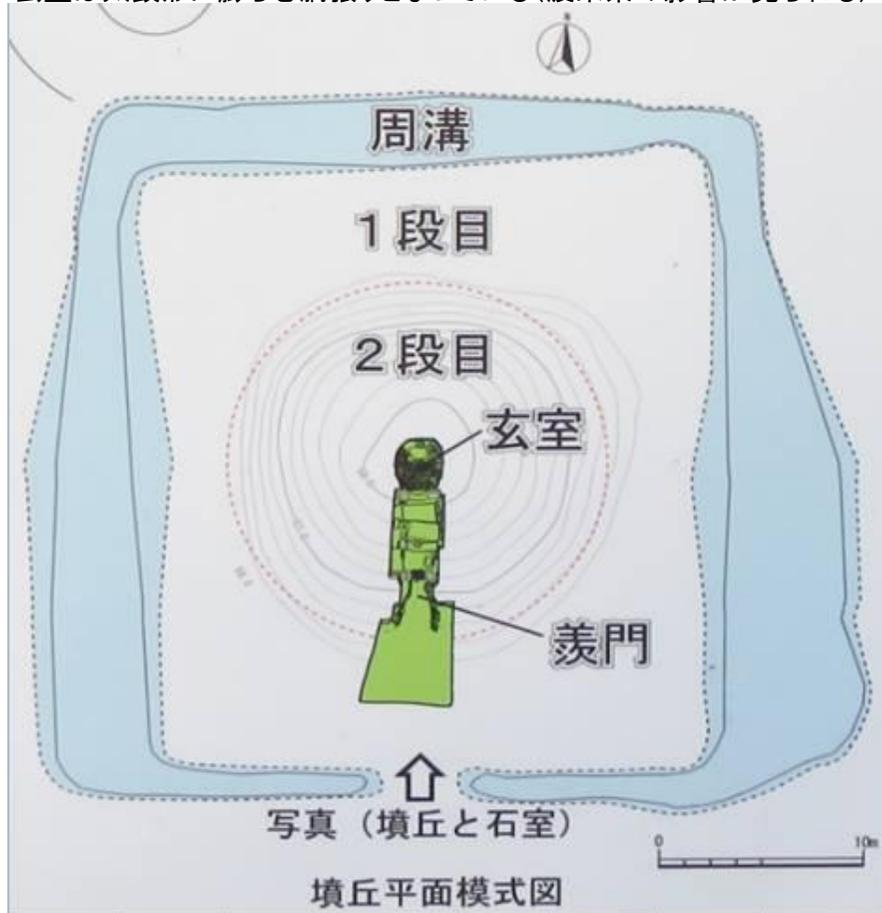
同時代の上円下方墳は他に、武蔵府中熊野神社古墳(府中市)、天文台構内古墳(三鷹市)、石のカタ古墳(奈良市・京都府木津町)、清水柳北1号墳(沼津市)、野地久保古墳(白河市)の全部で6基しか確認されていない/下図はその規模と築造年代/石舞台古墳は方墳とされているが、上円下方墳の加納勢もあると云う



発掘調査見学会配布資料/川越市教育委員会 より

※関東では宮塚古墳(7世紀末/熊谷市)も上円下方墳とされる

これは天文台構内古墳(三鷹市)の石室展開図/羨道・前室・玄室の三室構造で、羨門・玄門の両サイドには袖がつく両袖型の石室/  
玄室は太鼓形に膨らむ胴張りとなっている(渡来系の影響が見られる)

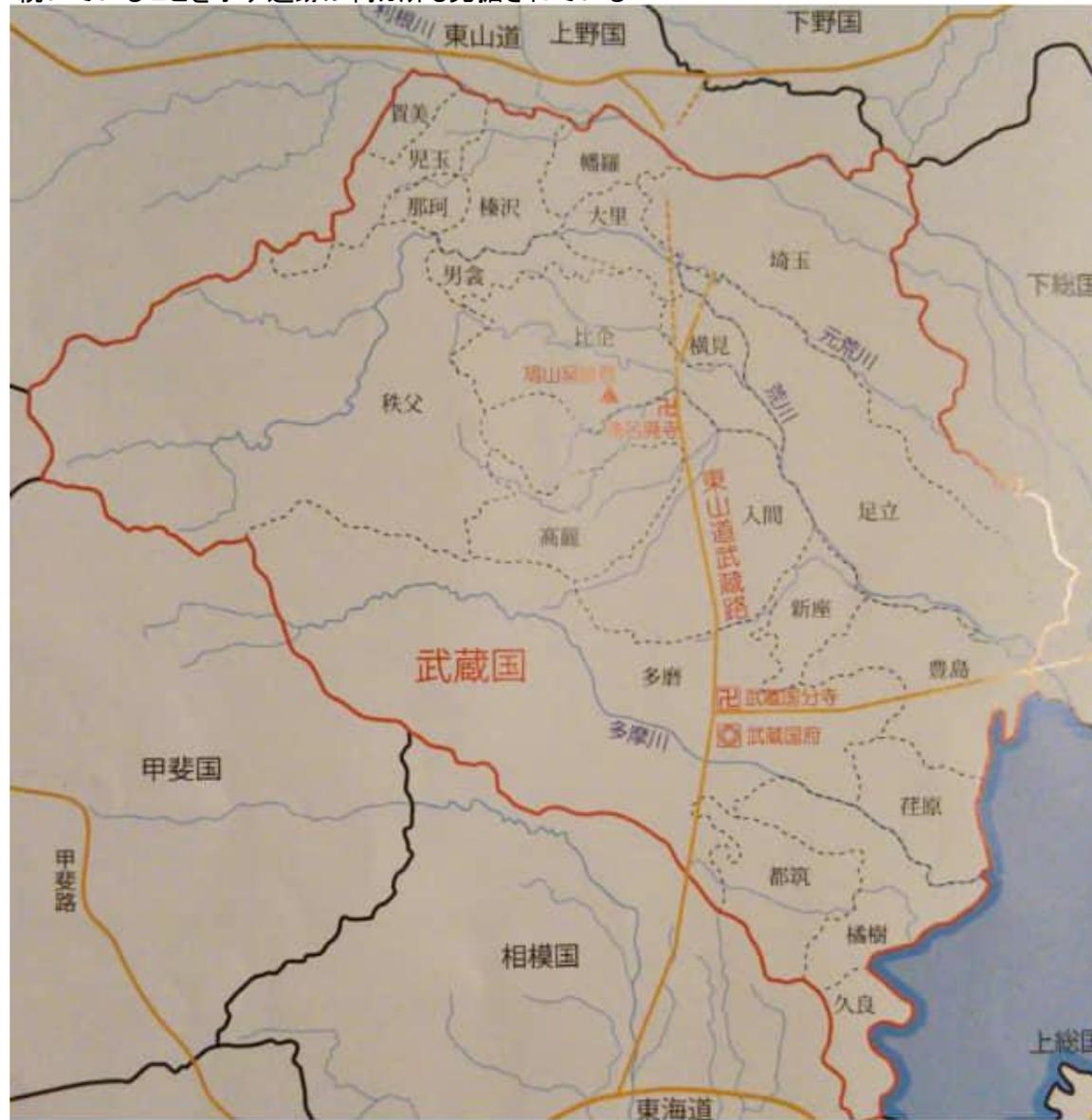


天文台構内古墳 現地説明板より

これは武蔵府中熊野神社古墳(府中市)/綺麗に復元されている/方墳の上部に円墳が載ったスタイル/山王塚古墳はこれより一回り大きい上円下方墳であったと云う



さて、上野下方墳である府中市の武蔵府中熊野神社古墳～川越市の山王塚古墳のエリアを通る東山道武蔵路が、坂戸市に所在する同時代に築造された勝呂神社古墳のエリアを通過して北方向へ続いていることを示す遺跡が何カ所も発掘されている 川越市立博物館 企画展「山王塚古墳～上野下方墳の謎に迫る～」図録より



坂戸市北東部は6～7世紀に連綿と築造された古墳・古代寺院・官道がセットになって所在する入間地域でも特異なエリア/更に北方向には大きな勢力を誇ったさきたま古墳群のエリアがある/にもかかわらず、何故それまでたいした古墳も無かった川越のエリアに突如として大型の、そして上円下方墳という全国でも珍しい山王塚古墳が築造されたのであろうか/4が勝呂神社古墳(大型円墳)、7が山王塚古墳



それは一口で言うと、「山王塚古墳を築造したのは、中央政権の東国統治～広域交通路の建設～を遂行した武蔵の有力首長」であったからと云う/武蔵府中に国府が置かれ、東山道武蔵路を建設・維持・管理したのは、郡の実務を担う地方官人(郡司)に任命されていた地元豪族(在地首長層)であった  
 入間郡の郡司として東山道武蔵路に関わった人物が、一族の従来の地(坂戸市北東部のエリア)ではなく入間郡家の近くの川越のエリアに、律令制に基づく新しい時代のモニュメントとして、道路や寺院の土木技術(版築技法、基壇・堀込地業など革新的な要素)が垣間見られる山王塚古墳を築造したのではないだろうか！？





川越市立博物館 企画展「山王塚古墳～上円下方墳の謎に迫る～」資料より

## 参考ホームページ

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/19\\_kwge/sannou.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/19_kwge/sannou.html)

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2016/04/10/085146>

<http://www.kawagoe-yell.com/sightseeing/sannotuka/>

<http://michikusa520.blog.fc2.com/blog-entry-7.html>

<http://www.ohoka-inst.com/sannoudukakofun555.pdf>

<http://tamtom.blog44.fc2.com/blog-entry-1836.html>

<https://kodaishi.exblog.jp/25066469/>

[https://blogs.yahoo.co.jp/ken\\_kohun/69602397.html?\\_vsp=5bGx546L5aGa5Y%2Bk5aKzIOW3nei2ig%3D%3D](https://blogs.yahoo.co.jp/ken_kohun/69602397.html?_vsp=5bGx546L5aGa5Y%2Bk5aKzIOW3nei2ig%3D%3D)

<http://koushin10hunter.panorama.velvet.jp/?eid=22>

<http://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-445.html>

<https://ameblo.jp/korokoro0105/entry-11488789514.html>

[http://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/bunkakyoyo/bunkazai/hakkustsuchosa/sannoutsuka\\_3.html](http://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/bunkakyoyo/bunkazai/hakkustsuchosa/sannoutsuka_3.html)

<https://koedo.info/160520sanodukakofun/>

<https://koedo.info/160829sanodukakofun/>

